

単元名：

「オーラリー」

(全○時間扱い中 第4時)

授業日時 2019年9月18日(水)第1校時

授業学級 4年東組

授業会場 音楽室

授業者

指導者

(1) ねらい

『オーラリー』を2部で合奏することの良さに気づき、お互いの音を聞き合って演奏することができる。

(2) 授業のポイント

- ・『オーラリー』を吹く場面で、曲の特徴や雰囲気が出るように演奏していた子どもたちが、さらに、タンギングや息の強さを意識して演奏した。【前時までの子どもの様子】
- ・2部合奏を子どもたちの前で演奏することを通して、2部合奏の良さや、どうしたらよりきれいな2部合奏ができるか考えられるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 『MUSIC』を歌う。 2. 実習生の2部合奏と、下パート範奏を聞き、下パートのイメージをもつ。 問題：2部合奏をするときに、どんなことに気をつければいいだろうか。 3. 見通しをもつ。	◇『MUSIC』を子どもたちと一緒に歌う。 ○「実習生2人で、演奏するね。」 ◇主旋律と副次的な旋律に分かれて吹く。 ◇演奏を聞いてみての感想を聞く。 ○「みんな、下パート吹ける？」 ◇下パートのイメージをもつために、吹いて見せる。 ○「2部合奏をするときに、どんなことに気をつけたらいいかな。」 ◎他のパートの吹く速さに合わせればできそうだよ。 ◎相手の音量に合わせていけばいいよ。 ◎息を合わせる。息を吸うタイミングを合わせる。 ◎出だしをそろえる。 ◎相手の音をよく聞く。 ◎拍をとる。 ◎ゆっくり吹けばいいよ。 ◎止まらないように吹く。	3分 10分
【学習課題】相手(他のパート)を意識して、2部合奏をしよう。			
展開	4. 個人練習をする	◇どのように上パートと、下パートに分かれるか子どもたちに聞く。 ◇全体の中で、分かれることになったら、個人練習の後半の時間で、違うパートの人たちと合わせるように指示を出す。 ◇いつものグループの中で、分かれることになったら、1人で練習している人に声をかけるように勧める。	20分

	<p>5. グループの発表を聞き、気づいたところを共有する。</p>	<p>◎この音がわからないよ ◎リズムがわからないよ ◎2部合奏をしたら、すごくきれいなメロディーになったよ。 ◇グループを回って、指導する。 ◇発表したいグループを聞き、2つのグループに発表してもらう。 ◇発表後に感想を聞く。 ◎息がそろっていて、とてもいいなと思った。 ◎もっと、速さや、音量を合わせたほうがいいと思った。</p>	<p>5分</p>
		<p>【評価(対象)】 お互いの音を聞き合って演奏することができている。(個人練習)</p>	
<p>終末</p>	<p>6. まとめをする。</p>	<p>○「今日のまとめをしましょう。」 ◎相手とタイミングを合わせたらうまく吹くことができた。 ◎違うパートの人の音をよく聞いた。 ◎上のパート(下のパート)の人の速さに合わせて吹くことができた。 ◎上と下のパート両方合わせるときれい。 ◎2部合奏っていいなと思った。</p>	<p>7分</p>

(4)板書計画

<p>相手(他のパート)をいしきして、2部合奏をしよう。</p> <p>○2部合奏をするとき、気をつけること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息を合わせる ・他のパートと同じ速さ・音量にする ・出だしをそろえる <p>→「せーの！」って言う、息を吸うタイミングをそろえる</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイミングを合わせたらうまく吹くことができた。 ・違うパートの人の音をよく聞いた。 ・止まらないように吹く ・どっちのパートも吹けるようになる ・上と下のパートが合わせるときれい。 ・2部合奏っていいなと思った。
--